

5月

昭和57年 1982

横浜市関係

- 1 廃校の磯子区浜小東分校、「社会教育コーナー」として再スタート。▽神奈川県図書館、地域の研究者に開放
- 3 第三〇回国際仮装行列
- 6 西友ストア、「西友コミュニティカレッジ」戸塚開校。五四講座
- 7 市長、五月補正予算案（総額三二億七、三〇四万円）、機構改革案発表
- 12 横浜ファッション振興委員会、「横浜ファッション産業の現状分析と振興政策に関する提案」を市に提出
- 14 市会五月定例会開会（29）
- 16 ヨコハマさわやか運動に一万三千人参加。鶴見区・港北区が重点区。▽第一回戸塚たこ揚げ大会開催
- 18 鶴見区で住民が選んだ「新鶴見八景」決定。一位、三ッ池公園
- 19 神奈川県役所正面玄関に、車いす用スロープ開設、渡り初め式
- 25 中区山手の外人墓地の斜面崩壊箇所修復工事起工式
- 26 市の横浜線延伸調査委員会発足
- 27 地域活動ホーム、「金沢福祉センター」落成式。市内第三番目。▽第五一回開港記念バザー開幕（29）。横浜公園
- 29 市会本会議、補正予算案など可決。宮原宏一郎助役、西脇徹収入役、広田孝二教育委員、森英雄人事委員に同意し閉

自治体・国・社会

- 1 全国税務署、五十六年度高所得者公示。一、〇〇〇万円以上の所得約四八万人。2 総理府五十六年度推計人口によると昨十月一日現在一億一、七八八万人。前年比〇・七〇%増。6 建設省、五十六年度住宅着工戸数発表。一一四万二、七〇〇戸。四十二年度以来の低水準。
- 10 自治省、五十六年度中の地方公務員給与の公表状況発表。七一九団体のうち六四五団体公表。▽国連ナイロビ環境会議開幕（18）。14 五十六年度交通安全白書によると、死者八、七一九人。前年比〇・五%減。
- 15 神奈川県都市緑化政策連合設立。▽沖繩本土復帰一〇周年。
- 18 経済企画庁、五十六年度消費動向調査発表。乗用車普及率六二・〇%。19 国会、九四日間の延長可決（29）。▽県、神奈川県における望ましい環境に関する意識調査」発表。総合評価「満足」五三%。22 「かがわ女性会議」設立。23 「核兵器廃絶と軍縮をすすめる'82年平和のための東京行動」に四〇万人参加。25 総理府家計調査によると、五十六年度勤労者世帯実収入一・〇%増。26 都の

6月

昭和57年 1982

横浜市関係

- 会。▽三ッ沢墓地で、第一一回横浜市戦災者追悼式
- 30 緑区鴨居町で、「フレッシュ・ラブよこはま'82緑区鶴見川」により、コインなど約一万五千匹放流。▽横浜商工会議所、市内一四区でグリーンキャンペーン実施。空き缶一〇万個回収
- 31 第七回六都府市首脳会議、箱根町で開催。室素・リンの削減指導に共同歩調で取り組むことなどに合意
- 2 開港一二三年記念式典、文化体育館で開催。▽帆船日本丸誘致保存促進会（会長・商工会議所会頭）、署名運動開始
- 5 市、一・二等級一三九人の人事異動発令。企画調整局廃止、企画財政局、都市計画局新設。▽「みなとみらい21」に対する環境アセスの審査書公告。▽公害対策局、公害患者の児童集め「ゼンソク音楽教室」開催
- 6 国際デー第一回よこはまどんたく
- 9 アジア太平洋地域における自治体の都市づくりに関する横浜国際会議（略称「国連・アジア太平洋都市会議」）幕開（26）。主催、横浜市、国連アジア太平洋経済社会委員会（ESCAP）、国連人間居住センター（HABITAT）。一六都市参加

自治体・国・社会

- 調査によると、就学している子供を持つ世帯の教育費は、消費支出の二一・四%。27 県農協中央会会長に、加藤一郎副会長選出。▽藤沢市辻堂で、母娘三人惨殺。28 行管庁の「パートタイム労働者等の労働条件確保に関する実態調査」によると女性が九割、就業規則未作成六二%。
- 29 三島市で東海地震警戒宣言の誤サイレン
- 1 全国市議会議長会調査によると、全国六四九市のうち四四八市で議員定数減員。4 厚生省、五十五年度国民医療費推計結果発表。総額一一兆九、八〇五億円、前年比九・四%増。国民一人当たり一〇万二、五〇〇円。前年比八・七%増。▽運輸省、大都市交通センサス発表。首都圏の通勤・通学で一時間半以上二〇・二%。▽第八回先進国首脳会議、パリで開催（26）
- 7 県藤沢出納事務所職員、公金一億二、二七八万円を詐取。懲戒免職。▽第二回国連軍縮特別総会、ニューヨークで開催（27）。11 経企庁、五十六年度実質経済成長率一・七%と発表。
- 16 東京、神奈川県、千葉の自民

11 国鉄戸塚駅東口で、市営地下鉄一号线戸塚駅工区起工式

17 市内七カ所目のスポーツ会館、南区六ツ川の南横浜バイパス下に、「六ツ川スポーツ会館」オープン

19 市情報公開意識調査によると、「実施すべき」と「どちらかといえば実施すべき」を加えると七三%

25 一ヨコハマさわやか運動五十七年度功労者表彰式。個人三一人、団体二七

26 「よこはま21世紀プラン」についての「区民のつどい」始まる(7/13)

29 国際障害者年横浜市民行動計画策定委員会発足。▽港南区区民のつどいに、押しボタン式意向表示機採用。▽横浜商工会議所会頭、市長に「みなとみらい21」計画に対する要望書提出

30 一横浜市都市型成長産業調査委員会、先端技術産業・研究開発機能型産業など五種類の産業を成長産業と報告。▽市港湾審議会、横浜港湾計画改定案承認

1 一市救急医療情報センターが健康福祉センター内にオープン。▽市教育委員長に清水善太郎氏選出。▽西区「ハマノ愛生園」に「高齢者よろず相談所」開設

3 一第三回横浜上海友好交流促進会議開幕(7/9)。▽軽費老人ホーム「東野園」が瀬谷区に開設。▽港北区岸根公園内に県立武道館完成、開館式

党国会議員、「東京湾横断道路・湾岸道路建設促進議員懇談会」初会合。▽厚生省、五十五年度社会保障給付費実態発表。総額二四兆六、〇四四億円。前年比一・三%増。23 一東北新幹線開業。大宮一盛岡間四六五・六km。工費一兆八千億円。24 一米価審議会、生産者麦価据え置き答申。三十五年以来初。26 一厚生省、五十六年人口動態の概況発表。死亡の一位は、脳卒中からガンに。27 一藤沢市建設局都市整備部長学校工事からむ取締で逮捕。▽国土庁の人口移動要因調査によると、三大都市圏内部の移動四二%、三大都市圏から地方圏への移動一三・一%(うちUターン五七%)。29 一米ソ戦略兵器削減交渉(STAR T)、ジュネーブで開始。30 一日朝漁業暫定協定(民間漁業協定)、期限切れ

1 一川崎市、宮前区と麻生区を新設、七区に。▽川崎市中央卸売市場北部市場開業。▽県医師会館内に、県救急医療中央情報センター開設。▽トヨタ自動車工業とトヨタ自動車販売が合併、トヨタ自動車に。3 一警察庁、五十六年自殺白書発表。総数二〇、四三四人。六五歳以上三三・

5 一市の五十七年度大卒採用試験の応募者三、三四〇人。前年比一四・四%減
9 一市五十六年度一般会計決算見込み、実質収支五四億四、四〇〇万円の黒字
11 一五十五年国勢調査によると、市の昼間人口比率九〇・六で五十年と変わらず
▽「三保市民の森存続を願う会」設立総会。緑区若葉台団地第一住宅自治会等
15 一市公共事業推進本部、指名業者数の拡大など入札制度一部変更
16 一横浜地裁、市立中学校のプール事故で、市に一億四、〇〇〇万円の賠償支払いを命ずる判決。学校災害で最高賠償額
18 一港北区篠原町に「地下鉄三号线篠原工区被害対策協議会」発足
19 一土地区画整理事業完了等により、旭区、緑区の区境・町名一部変更。▽市の五十八年度予算編成に対する一二項目の要望決定
20 一三保市民の森閉鎖
22 一キリンビール横浜工場と市、「飲料水供給協力に関する協定」締結
25 一国鉄桜木町駅横の旧東横浜駅跡地で「中国鉄道展」開幕(7/9/5)
27 一市教委、五十七年度市立学校現況発表。中学校二二六、小学校三〇八。児童数は三、六三一人の減少
28 一市教委、プール事故訴訟で東京高裁に控訴。原告も控訴。▽横浜市行政懇話会、五十七年度第一回会合

五%。6 一人事院、五十六年度年次報告書発表。国家公務員総数八六万七、一七二人。平均年齢四〇・六歳。7 一大蔵省、五十六年度税収実績発表。税収不足三兆三、三四二億円。10 一福岡市、五十三年以来の給水制限。11 一淀子市市議選挙投票日。投票率七〇・八四%。12 一福岡県知事公舎条例案可決。全国初。14 一共済年金制度問題研究会、意見書提出。16 一五十七年版警察白書によると、全刑法犯の五二%が少年。17 一厚生省、五十六年簡易生命表発表。男七三・七九歳(〇・四七歳増)、女七九・一三歳(〇・四一歳増) 19 一高知県窪川町議会、窪川町原子力発電所設置町民投票条例案可決。▽尼崎市収入役、公金預金をめぐる取崩容疑で逮捕。21 一政府、五十七年産生産者米価一・一%引き上げ決定。23 一長崎で集中豪雨。26 一国連高齢者問題世界会議、ウィーンで開幕(7/8)。▽中国、歴史教科書検定について政府に抗議。27 一農水省、五十七年農業調査発表。総農家戸数四五六万七千戸前年比一・〇%減。専業農家五九万九千戸。30 一臨時行政調査会、「行政改革に関する第三次答申」を首相に提出

資料は「広報よこはま」によったほか、主として神奈川新聞を参考にした。*印は日付不確定のため新聞発行日。